

どのように公募内容を変更するのか。

☑ 辞退者へのヒアリング結果等を踏まえ、実勢価格の把握や物価変動リスクへの対応、長期的な維持管理に係る官民のリスク分担の在り方などを改めて整理する必要がある。

☑ 再公募する場合、事業費は増加するのか。

☑ 他自治体の事例も参考に、実勢価格や物価変動を踏まえた公募条件や提案上限額について再検討する必要があると考えている。

☑ これまでの事業は順調に進んだのか。

☑ 平成24年度に PiKOA、平成27年度に芝生広場の供用を開始したが、その後は他の大規模事業の状況や社会経済状況等の影響により、公園整備事業の進捗を図ることが難しい状況となっていた。

☑ 地元や市民との協議はどのように行ってきたのか。

☑ 地元自治会長、市議会議員等で構成する協議会や、学識経験者、公募委員等で構成する連絡会議などで意見を聞くとともに、地元への説明等を実施しながら整備を進めてきた。

同意第2号

副市長の選任につき同意を求めること

川越志政会

☑ 候補者選定に当たり、どのような経緯があったのか。

☑ 市の行政課題等を踏まえ、国との連携強化や広域的な政策立案能力、幅広い行政経験を持つ人材が必要と判断

し、国土交通省に職員の派遣をお願いした。

☑ どのような分野での活躍を期待しているか。

☑ 道路、防災、観光等の分野の経験を踏まえ、財源を含め、国や県と連携して各施策を推進してもらいたい。

☑ 新たに選任する副市長の担任意務はどうなるのか。

☑ まちづくり、産業、観光等の分野の他、広報および防災分野の一部についても担任してもらう予定である。

決議第1号

討論あり

小林透議員に対する問責決議

初雁自由政令会

☑ 小林透議員が指摘した、公的な場で女性職員への花束贈呈の際に膝を床につけたり、写真撮影の際に肩に手を回す行為が公人として適切な行為と考えるのか、賛成者として名を連ねている女性議員に伺う。

☑ 環境型ハラスメントには当たらないと考える。

※この答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

決議第2号

討論あり

吉敷賢一郎議員に対する問責決議

川越志政会

☑ 環境型ハラスメントは、一般的に継続的・反復的な言動により就業環境が害される状態を指すが、公務の場において継続的・反復的な言動はあったのか。

☑ 過去にも同じような事があったということであり、3月の常任委員会散会後の写真撮影の件は、2月の行政視察の際の件もあったことから、継続的・反復的な行為に当たるものと考えている。

討論

今定例会の最終日に次のような討論が行われました。

請願第1号

身体障害者手帳4級への医療費助成制度の継続を求める請願書

賛成 | 川越志政会

委員会での採決が可否同数の場合、本来、「現状維持の原則」により委員長採決で否決されるべきところ、十分な議論が尽くされたと言い難い中で、同制度は実施に向かっている。このことに対し、当事者が立ち戻って考えてほしいと声を上げられたのが本請願であり、その声を議会が再び封じることになってはならないと考える。

賛成 | 日本共産党

低所得の身体障害者4級の医療費助成を廃止した市に対して継続を求める請願に、私たち議員が応えるべき。財政健全化などを理由に廃止するが、年6億円の中学校給食費無償化を市単独で実施できるので、年6400万円の医療費助成は継続可能。本人や家族の医療費負担が増え

ることで、通院や投薬の中断が持病の悪化につながる。

決議第1号

小林透議員に対する問責決議

反対 | 初雁自由政令会

今回の事案が環境型ハラスメントに該当するか否かは、まさに議会が自浄能力を持って判断すべき重大事である。その指摘を行った小林透議員を問責することは、今後、市議会から告発者を排除する意思表示となり、反対する。

決議第2号

吉敷賢一郎議員に対する問責決議

賛成 | 初雁自由政令会

我々は今、議会が「自浄能力」を持っているかどうかを問われている。不都合な事実^{きざん}にふたをするのではなく毅然と事実を認め、非を改める。その姿こそが、市民からの信頼を回復する唯一の道であると確信している。